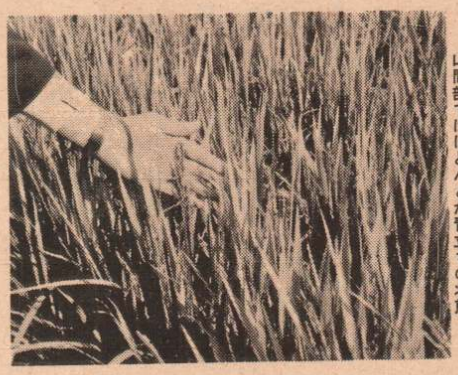
冷害 被害状況と今後の具体策

60数年ぶりといわれる冷害に見舞れ，その対策として9月24日に大館市冷害対策本部を設置し，関係機関の代表者9名をもって本部を構成，石川市長を本部長に被災農家の救済および今後の安定生産技術の確立を期してその指導にあたっております。



山間部ではほとんどが青立ちの状態（10月末撮影）

天災融資法(激甚災害法)が適用される

冷害による被害は市内全域にわたっており，本市には天災融資法が適用され長木，下川沿，真中，二井田，十二所，花矢地区は特別被害地域に，又，大館，釈迦内，上川沿地区は一般被害地としてそれぞれ指定を受け，さらに激甚災害法が適用されました。

又，農業災害補償法に基づく農業共済金については，大館地区が対象面積11万8，591アール，被害戸数2，576戸減収量118万186キログラムで給付額は2億5，964万円，花矢地区が対象面積5万526アール，被害戸数630戸，減収量40万8，004キログラムで給付額は8，976万円で，合計で給付額は3億4，940万円といままでにない最高額となっております。

今後は早生を増、中晩生を減

今後の対策として，救農土木事業や高冷地のかんがい排水事業，さらには農道整備やほ場整備事業をすすめるとともに52年度の種子構成を，これまで全体の80％を占めていたトヨニシキ，キヨニシキ，ササニシキなどの中晩生種を43.7％とし，アキヒカリを中心としたヨネシロ，レイメイなどの早生種を54.3％にすることにしました。又，営農計画及び生活設計の指導にも力を入れ，特に次の事項を重点的に指導することにしました。

1 **基盤条件の改善**

㋑ 地，水，気温の上昇を図るための基盤の整備

㋺ 水管理を容易にするため容排水分離と区画整理

㋩ 適正透水性20㎜を目途とした漏水田の床締め，客土，排水不良田の暗きょの施工

㋥ 水温上昇施設の設置

2 **地力の向上**

㋑ 耕深は15㎝で適正透水性を付与（高冷地では透水性20㎜程度）する。

㋺ 有機物の施用（高冷地では良く腐熟した堆肥を使用）

㋩ 土壌改良材のケイカル，溶リンを施用する。

3 **品種の適正配置，早中晩生品種の組み合せ**

4 **栽培法**

㋑ 健苗育成と適正作季，適正作季内に出穂，登熟の出来る作業方法。高冷地では標高に応じて，300㎜以下では中苗，300㎜以上では成苗を用い，うすまきとして健苗を育成し早植えする。

㋺ 密植，栽培密度は田植え機の調整を行う。1㎡当り25～28株とする。

㋩ 施肥法は，元肥重点プラス追肥を原則として，土壌型に応じて施肥をする。

㋥ 病害虫防除，イモチ病の併発を防ぐため，苗イモチを持ち込まないための育苗管理，イモチの早期診断，防除組織を強化する。

夏まつりは

今年から8月16日に

大館市夏まつり企画委員会は，今年から夏まつりの実施日程をこれまでの8月6日から10日繰り下げて8月16日に行うことに決定しました。

これは，実施日をお盆休み中の16日にすることにより，休みで，帰郷される県外就職者，出稼者，進学者の方々にも見てもらい，楽しい思い出にしていただこうとするものです。

又，行事内容についても，昼の歩行者天国の内容の充実や，時間をさらに延長させ，夜7時からの花火大会までの時間を何かの行事で埋め，昼の客をそのまま夜の行事に動員する点などについて，今後十分に検討を重ねることになっております。

「市民便利帳」を全戸に配付

市では，市制施行25周年事業の一環として「市民便利帳」を作成しました。

これは，市の行政がだんだんと複雑になり，多様化してきていることから，市民の皆さんに市役所の業務内容をよく知っていただき，いろいろな制度のことや手続きなどを理解していただくことを目的に，皆さんの日常生活とつながりの深い窓口事務を中心としてまとめたものです。この便利帳は，縦18㎝，横13㎝で，88頁の小冊子で，2万4，000部を発行，行政協力員の方々を通して皆さんのご家庭に配付されます。

除雪対策

雪との戦いもこれからが本番に入ります。秋田地方気象台の長期予報によりますと，「今年の冬は温暖な日が多く，比較的しのぎやすいが，今月中旬には大雪の恐れがある」とのことです。市では早くから豪雪に備え，除雪計画を決め，国県とも緊密な連絡をとり，市民の皆さんの生活に支障のないように全力をあげることにしております。

具体的な対策として，国道7号線は建設省能代工事事務所大館出張所が，国道103号線及び管内県道の全部は北秋田土木事務所で，その他市道や農林道は市が行うという除雪区分を決めました。

市道の除雪計画としては，市の除雪グレーダーなど5台のほか，市内の業者の除雪車53台，合せて58台の機動力のもと除排雪に万全を期すことにしております。又，つぎのことについて市民の皆さんのご協力をお願いします。

◆ 道路には雪を出さないようにしてください。

◆ 道路は機械で除雪しますので家屋の入口をふさぐ場合もありますが，各自で整理するようお願いします。

◆ 自動車，リヤカー等を路上駐車させていると，除雪の要請があっても中止し，あるいは破損物件の補償はいたしませんのでご了承願います。

◆ 豪雪により排雪を行う場合は，トラック，除雪機械等を市で貸与します。事前に排雪日程をお知らせください。

◆ 作業上，沿線の耕地や冬期の閑地へ排雪せざるを得ない事態が生ずることがありますのでご協力願います。

新年 明るく豊かなまちづくりに努めます

〈市立総合病院〉

院長 白根 定雄
副院長 浅利 兵造
第一内科部長 牧野 多門
〃 医長（兼） 佐藤 六蔵
〃 〃 藤原 金三
〃 〃 田 宏文
第二内科部長（兼） 石米 景紀
〃 〃 田井 鉄蔵
〃 〃 吹田 次
〃 〃 成矢 悧
〃 〃 宏助 夫
〃 〃 丸屋 敏
〃 〃 芳賀 成
〃 〃 吉成 久
外科部長（兼） 本間 博
〃 〃 菊地 泰
〃 〃 月居 雄
〃 〃 藤盛 政
〃 〃 伊多波 浩
〃 〃 田面木 敏
〃 〃 中 夫
泌尿器科部長 福田 彰
脳外科部長 高井 芳
〃 〃 根中 順
〃 〃 吉橋 俊
〃 〃 林田 男
〃 〃 福田 昌
〃 〃 吉井 新
〃 〃 松田 夫
〃 〃 藤岡 彦
〃 〃 猪中 一
〃 〃 田野 昭
〃 〃 熊倉 隆
〃 〃 中 秀
〃 〃 上 一
〃 〃 井 郎
〃 〃 茂 夫
〃 〃 室 譲
〃 〃 章一 夫
〃 〃 清 満
〃 〃 啓 雅
〃 〃 熊 夫
〃 〃 田 章一
〃 〃 小 雄
〃 〃 井 彦
〃 〃 真栄田 明
〃 〃 大 一
〃 〃 大学より派遣 真 豊
〃 〃 大学より派遣 斎藤 二
〃 〃 大学より派遣 神 一
〃 〃 大学より派遣 蓮部 満
〃 〃 大学より派遣 田尾 裕
〃 〃 大学より派遣 油川 子
〃 〃 大学より派遣 田村 修
〃 〃 大学より派遣 小松 純
〃 〃 大学より派遣 川畑 武
〃 〃 大学より派遣 石田 弘
〃 〃 大学より派遣 林 進
〃 〃 大学より派遣 藤 子
〃 〃 大学より派遣 栗 尚
〃 〃 大学より派遣 猪野 満
〃 〃 大学より派遣 田中 夫
〃 〃 大学より派遣 山田 逸
〃 〃 大学より派遣 根田 昌
〃 〃 大学より派遣 武石 子
〃 〃 大学より派遣 萩野 郎
〃 〃 大学より派遣 岡 宏
〃 〃 大学より派遣 佐 進
〃 〃 大学より派遣 野 邦
〃 〃 大学より派遣 中 好
〃 〃 大学より派遣 田 隆
〃 〃 大学より派遣 田 亮
〃 〃 大学より派遣 石 芳
〃 〃 大学より派遣 野 ミチ
〃 〃 大学より派遣 野 子
〃 〃 大学より派遣 三 泰
〃 〃 大学より派遣 三 郎
〃 〃 大学より派遣 西村 宏
〃 〃 大学より派遣 成田 誠
〃 〃 大学より派遣 秋田 一
〃 〃 大学より派遣 三井 五郎
〃 〃 大学より派遣 ツ元 孝一
〃 〃 大学より派遣 正三 郎

〈広域市町村圏組合〉

事務局長 成田 誠
消防署長 秋田 一
消防長 三井 五郎
〃 参事 西村 孝一
〃 〃 正三 郎

〃 〃 田 隆
〃 〃 面木 亮
〃 〃 中 芳
〃 〃 晴 昌
〃 〃 夫 子
〃 〃 一 郎
〃 〃 田 宏
〃 〃 中 郎
〃 〃 田 三
〃 〃 田 泰
〃 〃 根 子
〃 〃 石 郎
〃 〃 武 宏
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 子
〃 〃 猪 尚
〃 〃 田 満
〃 〃 山 夫
〃 〃 林 逸
〃 〃 藤 昌
〃 〃 栗 子
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 宏
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 宏
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 宏
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 宏
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎
〃 〃 栗 郎
〃 〃 猪 郎
〃 〃 田 郎
〃 〃 山 郎
〃 〃 根 郎
〃 〃 武 郎
〃 〃 萩 郎